

鹿児島紡績所跡発掘調査現地説明会



(写真提供：尚古集成館)



期日 平成 22 年 6 月 2 6 日 (土)

午前 9 : 30 ~ 11 : 30

午後 2 : 00 ~ 4 : 00

場所 仙巖園前 (鹿児島市吉野町 9688)

説明会場には見学者用駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。



出土した石列 (紡績所布基礎?)

「九州・山口の近代化産業遺産群」を世界遺産に!

日本は、幕末以降、西洋以外の地域で初めて、それも極めて短期間に飛躍的な近代化を遂げました。中でも、島津斉彬によって 1850 年代に開始された集成館で培われた技術は、日本の初期の近代化に大きく貢献したのです。本県を含む九州・山口の 6 県 10 市では、これら日本の近代化に貢献した遺産群の世界遺産登録を目指しています。



紡績所基礎根石?

「鹿児島紡績所」とは

鹿児島紡績所は、斉彬の跡を継いだ島津忠義によって 1867 (慶応 3) 年に建設された日本で最初の洋式機械紡績工場です。工場の開設に当たっては五代友厚らがイギリスから紡績機械を調達し、7 名のイギリス人技師が招聘されました。